

概要.....

1951年、東京在住の働く女性の中核となっていた女性達の間で横のつながりを持ち、女性の地位向上を目指しながら親睦を図りたいという小さなグループ『東京有職婦人クラブ』が誕生。その後横浜・名古屋などに同様のクラブが結成され、1958年には、日本有職婦人クラブ全国連合会が発足しました。1959年にはIFBPW（現BPW International）に加盟し、1994年世界各国の呼称統一の動きにあわせて、日本BPW連合会と改称しました。会員は、職業を持つ者またはかつて持っていた女性を中心で

す。
平成21年9月15日「特定非営利活動法人 日本BPW連合会」として新たなスタートを切りました。

◆現在の日本BPW連合会は、21クラブ、及び個人会員があり、会員は約435名です。

◆各クラブは自主的に運営され、毎月例会を開き、独自の活動を行っています。連合会は、年1回の総会を開催し、BPW International*の方針に沿った統一テーマ（2009～2011は“変革への挑戦—女性たちのリーダーシップ・アドボカシー・行動—）を採択して単位クラブの活動に指針を与えています。また全国を5ブロックに分け、各地で毎年1回、ブロック研究会を開催しています。

◆次世代育成事業として、ヤングスピーチコンテスト（「私と仕事・職業」をテーマに地区大会及び全国大会）を開催し、将来リーダーになるべく有望な若い女性たちがプレゼン能力を高めるための支援をしています。また、毎年3月ニューヨークの国連本部で開催される女性の地位委員会（CSW）にインターンとして公募した若い女性たちを派遣して、世界の女性たちと問題を共有できることの大切さを学んでもらい、将来国際的な立場で活躍されるよう期待しています。新たに、NGOで活躍する女性を育成するための、日本女性リーダーシップ養成（JWLI）事業（ボストン）の正式協力団体となっています。

◆国外活動としては、BPW Internationalの3年に一度の世界大会（コンGRESS）に日本代表が出席し、諸決議の表決に参加しています。1993年のコンGRESSは日本・名古屋で開かれました。交流事業として、BPWソウルクラブと東京クラブ、BPW仁川クラブと長崎クラブがツウイニングクラブとして交流しています。

*BPWIは国連のCSW（女性の地位委員会）及びILO、UNESCO、UNIFEMに代表を送っています。

2009～2011 統一テーマ

**変革への挑戦—
女性たちのリーダーシップ・アドボカシー・行動**
Power to make a difference Women's contribution through leadership, advocacy and action



** 事務局 **

〒151-0053 東京都渋谷区代々木2-21-11 婦選会館 303

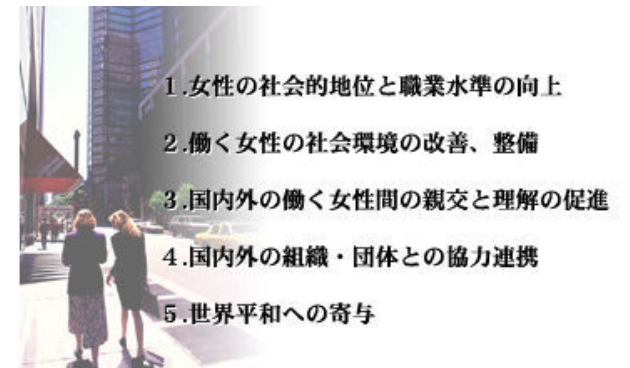
TEL03-5304-7874 FAX03-5304-7876

E-mail office@bpw-japan.jp

URL http://www.bpw-japan.jp/



National Federation of Business and Professional Women's Club of JAPAN



- 1.女性の社会的地位と職業水準の向上
- 2.働く女性の社会環境の改善、整備
- 3.国内外の働く女性間の親交と理解の促進
- 4.国内外の組織・団体との協力連携
- 5.世界平和への寄与

BPWは、Business and Professional Womenの略で、日本BPW連合会は、働く女性たちの国際組織BPW International加盟のNPO法人です。働く女性の利益を促進し、女性の社会的地位と職業水準の向上をはかるとともに、国内および国外の働く女性の親交と理解を深め、世界平和に寄与することを目的としています。

近年のグローバリゼーションのなかで、国際的には「より調和ある平和な世界のために、あらゆる分野で男女相互の尊敬に基づくパートナーシップで諸般が決定されるような、女性にとって平等で正しい地位を確立するための活動」という文言がビジョン・ステートメントとなっています。

BPW Internationalは国連の経済社会理事会の諮問機関として、一般協議資格を持つNGOの団体です。

主な活動 (2010年)

2010年統一テーマ

変革への挑戦

女性たちのリーダーシップ・アドボカシー・行動

■ 全国大会 (年1回)

- ◇ 基調講演「出会いで開いていく扉」
講師 中田慶子氏/NPO 法人 DV 防止ながさき理事長
- ◇ 公開ワークショップ
 - ・ 組織拡大の戦略と活動の多様性を探る～新たな環境とグローバル化の中で～
 - ・ 賃金格差は解消できるか?～同一価値労働同一賃金の原則とその先にあるもの
 - ・ 男性のためのワーク・ライフ・バランス推進のために～幸せな男性を増やす戦略を考える～
- ◇ パートナーシップ・エバリュエーション賞発表
(行政の男女共同参画貢献度を評価し表彰)
- ◇ ヤングスピーチコンテスト

■ ブロック研究会 (年1回・公開が原則)

統一テーマに沿って、全国5ブロックで開催

■ 単位クラブ活動 (毎月1回例会開催)

全国各地の単位クラブ・アソシエーツが統一テーマに沿った独自の活動を展開

■ 広報活動 ニュースレター(年数回)会報(年1回)発行

ホームページ <http://www.bpw-japan.jp>

■ 次代を担う女性たちへの支援活動

- ・ UN-CSW(国連女性の地位委員会)インター募集・選考
- ・ ヤングスピーチコンテスト「私と仕事・職業」

■ 日本女性指導者育成事業 (JWLI)

アメリカ・ボストン在住の日系事業家が日本の女性たちのために創設した研修事業と提携して、フェローを公募・選考し、米国マサチューセッツ州 シモンズ・カレッジでの研修に派遣する。また、国内において JWLI フォーラム「女性のリーダーシップの役割」を開催する。

男女共同参画に関する最近の活動状況.....

■ 内閣府との共催事業

「国・地方連携ネットワークによる男女共同参画・子育て支援事業」を実施。札幌、和歌山、東京の3地区で「落語と講談で聴くワーク・ライフ・バランス&シンポジウム～私らしく生きるために～」を開催。

■ APECWLN (APEC 女性リーダーズネットワーク) に松原理事長が企画運営委員として、平松国際委員長が実行委員として参画、BPW は全体会合のシンポジウムを担当する。

組織.....



執行役員会

理事長
副理事長
専務理事
会計

常任委員会

企画
組織
広報
国際
財務
ヤング BPW

理事会

上記役員、常任
委員長及び各
単位クラブ代
表理事で構成

■ 単位クラブ

北海道・東北
ブロック

札幌クラブ
旭川クラブ
苫小牧クラブ
青森クラブ
仙台クラブ
山形クラブ
米沢クラブ

関東・山梨
ブロック

東京クラブ
山梨クラブ

中部ブロック

名古屋クラブ
東海クラブ
アリス東海クラブ
岐阜クラブ

(休会中)

愛知クラブ

近畿ブロック

京都クラブ
大阪クラブ
神戸クラブ
和歌山クラブ

西日本ブロック

香川クラブ
福岡クラブ
北九州クラブ
長崎クラブ

■ その他

個人会員 賛助会員

BPW International ホームページ.....

■ BPW International <http://www.bpw-international.org>

Congress 開催地及び今後の予定地.....

- 第19回 1989年 パナマ (ナッソー)
- 第20回 1991年 ケニヤ (ナイロビ)
- 第21回 1993年 日本 (名古屋)
- 第22回 1996年 イタリア (ベニス)
- 第23回 1999年 カナダ (バンクーバー)
- 第24回 2002年 オーストラリア (メルボルン)
- 第25回 2005年 スイス (ルツェルン)
- 第26回 2008年 メキシコ (メキシコシティ)
- 第27回 2011年 フィンランド (ヘルシンキ)

日本 BPW 連合会歴代代表.....

- 1958～1959 山主 敏子 共同通信論説委員
- 1959～1961 久米 愛 弁護士
- 1961～1963 西 清子 評論家
- 1963～1965 金子 みつ 参議院議員
- 1965～1967 高力 寿美子 大阪府専門職員
- 1967～1971 北野 とみ アメリカ文化センター次長
- 1971～1975 影山 裕子 国立電報電話局長
- 1975～1976 高橋 展子 駐デンマーク大使
- 1976～1979 橋本 綾子 衣笠学園園長
- 1979～1980 高橋 展子 駐デンマーク大使
- 1980～1983 安藤 はつえ あいふおーらむ編集長
- 1983～1987 高橋 久子 最高裁判事
- 1987～1991 佐々 基子 NHK プロデューサー
- 1991～1995 安藤 はつえ あいふおーらむ編集長
- 1995～1999 平松 昌子 就職情報誌編集長
- 1999～2003 出村 和子 弘前学院大学教授
- 2003～2005 平松 昌子 会社役員
- 2005～2009 黒崎 伸子 小児外科医
- 2009～ 松原 敏美 弁護士

肩書きは、代表就任時のものとは限りません